

官民連携事業の推進のための地方ブロックプラットフォーム
「サウンディング」
案件登録様式

■ 記入票

項目	記入欄
1. サウンディング情報	
①団体名	和歌山県田辺市商工観光部観光振興課
②事業名	熊野の郷古道ヶ丘及び熊野古道中辺路陶芸館利活用事業
③本事業の現在の検討ステージ	<p>①.事業発案 2.事業化検討 3.事業者選定 4.その他（ ）</p> <p>熊野の郷古道ヶ丘は、市民の健康づくりに寄与し、自然に親しむ野外活動を普及するとともに、福祉の増進及び観光の振興を図る施設として、バンガローやキャンプ場等の観光施設と障害者福祉施設を併設した市有施設であり、現在は地元の社会福祉法人が指定管理者となって管理運営を行っているが、類似施設の建設や新型コロナウイルスの感染拡大、施設の老朽化への対応等で経営状況が悪化してきており、今後の施設運営の在り方が大きな課題となっている。</p> <p>また、近隣施設に「中辺路陶芸館」があり、令和元年度をもって指定管理者との協定解除後は休館となったままであり、今後の活用の見通しが立っていない。</p> <p>そのため、世界遺産・熊野古道から徒歩圏内というロケーションを活かした再生を検討しているが、事業手法や活用方針について全く決まっておらず、民間事業者等からの助言や提案も参考に、施設の再生に向けた検討を行いたいと考えている段階である。</p>
④サウンディングの目的	当市は、官民連携事業の経験に乏しく、ノウハウも持っていないことから、民間事業者等からの助言や提案をいただくとともに、情報収集を行い、今後の事業検討の参考にしたい。
⑤民間事業者に対する質問事項	<ul style="list-style-type: none"> 官民連携手法としてどのような方法が想定されるかの提案 本事業（エリア）の市場性やポテンシャル 市に期待する支援、求める役割や問題点について
⑥対話を希望する業種	<p>1.設計 2.建設 ③.不動産 4.金融機関 5.維持管理 ⑥.コンサルタント ⑦.運営（ 高級ホテル等 ） 8.その他（ ）</p>
⑦対話を希望する事業者の事業展開エリア	<p>①.全国展開している事業者 ②.当該エリア外の事業者 ③.地元事業者 4.その他（ ）</p>

2. 事業概要

(1) 基本情報

①事業の分野	①.公有財産利活用 2.都市公園 ③.観光施設 4.教育・文化関連施設 5.賃貸住宅・宿舎等 6.廃棄物処理施設・斎場 7.インフラ施設 () 8.その他 ()
②事業の種類	1.新設 2.建替え ③.改修 ④.維持管理・運営 5.その他 ()
③想定する事業類型	1.サービス購入型 ②.収益型 3.混合型 4.その他 ()
④想定する事業の手法	1.PFI事業 ()方式 2.DBO方式 3.包括的民間委託 4.指定管理者制度 5.コンセッション 6.Park-PFI ⑦.土地の賃貸借 ⑧.土地の売却・譲渡 ⑨.建物の賃貸借 ⑩.建物の売却・譲渡 11.その他 ()
⑤事業内容	熊野の郷古道ヶ丘及び熊野古道中辺路陶芸館の活用 具体的な活用方針は未定だが、世界遺産・熊野古道の近隣地というロケーションを活かしたビジネスを行う事業者（例：富裕層向けホテル）の公募等ができないか模索している現状。
⑥現状及び課題	「熊野の郷古道ヶ丘」は福祉の増進及び観光の振興を図る施設として、バンガローやキャンプ場等の観光施設と障害者福祉施設を併設した市有施設であり、現在は社会福祉法人が指定管理者となり、管理運営を行っている。 熊野古道から徒歩圏内というロケーションにある施設ではあるが、類似施設の建設や新型コロナの感染拡大、施設の老朽化等により経営状況が悪化してきており、今後の施設運営の在り方や施設の再生が大きな課題となっている。 また、「熊野古道中辺路陶芸館」が近隣にあり、令和元年度をもって指定管理者との協定を解除後休館となっているが、今後の活用の見通しが立っていない。 こうしたことから、両施設の効果的な利活用に向けた検討を進めていきたい。
⑦前提条件	熊野古道から徒歩圏内という立地を活かした活用方法を探っていきたい。
⑧事業スケジュール（予定）	未定（早期に再生に向けての基本的な計画を定めたいと考えている。）
(2) 対象地	
①所在地（交通情報含む）	○熊野の里古道ヶ丘 和歌山県田辺市中辺路町栗栖川 844 番地の 100

	<p>○熊野古道中辺路陶芸館</p> <p>和歌山県田辺市中辺路町栗栖川 844 番地の 33 (首都圏から)</p> <p>羽田⇄南紀白浜便が 1 日 3 便運航しており、羽田・白浜間が約 1 時間、南紀白浜空港から約 40 分 (大阪から)</p> <p>新大阪から特急くろしおで JR 紀伊田辺駅まで約 2 時間、紀伊田辺駅から路線バスで約 45 分</p> <p>関西国際空港からは、JR 紀伊田辺駅まで約 2 時間、紀伊田辺駅から路線バスで約 45 分 (車利用)</p> <p>梅田から阪和自動車道南紀田辺 IC 経由で約 2 時間 30 分</p>
②敷地面積	<p>熊野の里古道ヶ丘 約 74,000 m²</p> <p>熊野古道中辺路陶芸館 約 1,642 m²</p>
③土地利用上の制約	田辺市景観計画区域(熊野参詣道(中辺路)特定景観形成地域)
④所有者	田辺市
⑤周辺施設等	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産「熊野古道」が徒歩圏内にある。 車で 5 分圏内に田辺市中辺路行政局、田辺市消防中辺路分署、市立くりすがわ保育園、市立中辺路小学校、市立中辺路中学校、診療所、歯科診療所、スーパー、農協、郵便局等が立地。
⑥対象地周辺の環境	<p>世界遺産「熊野古道」の近くに位置し、豊かな自然に囲まれている。</p> <p>また、市内には熊野本宮大社や熊野本宮温泉郷・龍神温泉などの温泉、海水浴場、軽登山に適した低山、歴史、グルメなど、国内外を魅了する多くの観光資源がある。</p>
⑦その他 (上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等)	熊野の里古道ヶ丘、熊野古道中辺路陶芸館の両施設とも田辺市の行政財産として、条例に位置付けられている。

■ 添付資料

- 施設概要(古道ヶ丘・陶芸館)
- 田辺市統計書(抜粋)